

公共交通利用(JR・琴電)に関するアンケート結果

	PAGE
1. アンケートの概要	1
(1) アンケートの目的、方法など	1
(2) アンケート回収状況	2
(3) 回答者の属性	3
2. アンケート結果	4
(1) 出発地	4
(2) 目的地	6
(3) 乗車駅	7
(4) 乗車駅までの交通手段	8
(5) 乗車駅までの所要時間	9
(6) 降車駅から目的地までの交通手段	10
(7) 琴電各駅での降車状況	11
(8) 目的地までの所要時間	12
(9) 「JR, 琴電, バス」に乗り換える理由	13
(10) 降車した駅から乗り換えなしで目的地まで移動する場合の手段選択理由	14
(11) 選択した交通手段の利用目的と頻度	16
(12) JR または琴電に対する要望	17
(13) 今回の目的以外で中心市街地を訪れる時の交通手段と利用理由	18
3. まとめ	21
アンケート票	23

平成21年8月7日

高 松 市

1. アンケートの概要

(1) アンケートの目的、方法など

調査目的

高松市の将来を見据えた総合都市交通計画を策定していく上での基礎データの収集。

調査方法

	内 容
調査対象	・ 高松市中心市街地の主要 4 駅(JR 高松駅、琴電高松築港駅、琴電片原町駅、琴電瓦町駅)の利用者を対象
配布、回収方法	・ 調査対象駅(JR 高松駅、琴電高松築港駅、琴電片原町駅、琴電瓦町駅)の降車客に対し、アンケート用紙を配布。 ・ 回答した用紙(はがきタイプ)を返送。
配布数	・ 約 7,300 票(各駅の配布数は、降車客で按分して用意)
調査日時	・ 平成 21 年 5 月 26 日(火) 7:00 ~ 19:00 (JR 高松駅については、20:00 まで実施)
回収期限	・ 平成 21 年 6 月 10 日(水) (集計については、6 月 21 日到着分までを対象)

アンケートの項目

- ・ 出発地、目的地(当日の行動)
- ・ 自宅等から出発駅までの利用交通手段(当日の行動)
- ・ 降車駅から目的地までの利用交通手段とその利用理由(当日の行動)
- ・ 外出目的(当日の行動)
- ・ 普段の目的以外で中心市街地を訪れるときの交通手段とその利用理由
- ・ JR または琴電に対するサービス改善要望
- ・ 個人属性(性別、年齢)

(2) アンケート回収状況

・アンケートの回収数は、全体で2,142票であり、回収率は30.4%であった。

回収状況

	配布数		回収数		回収率
		比率		比率	
JR高松駅	2,674	36.7%	689	31.1%	25.8%
琴電高松築港駅	1,101	15.1%	400	18.1%	36.3%
琴電片原町駅	1,156	15.9%	398	18.0%	34.4%
琴電瓦町駅	2,357	32.3%	728	32.9%	30.9%
計	7,288	-	2,215	-	30.4%



*以下、調査対象駅の JR 高松駅は「JR 高松」、琴電高松築港駅は「築港」、琴電片原町駅は「片原町」、琴電瓦町駅は「瓦町」と表記する。

(3) 回答者の属性

(性別)

- ・ 回答者の性別は、「**男性**」が約 53%、「**女性**」が約 46%で、ほぼ均等な結果となった(図 1)。

(年齢)

- ・ 回答者の年齢は、「**50 歳代**」が約 30%で最も多く、次いで「40 歳代」、「30 歳代」となり、**琴電瓦町駅**では、「10 歳代」、「20 歳代」の**若い世代が他の駅と比べ少し多い**(図 2)。
- ・ また、各駅で 60 歳以上の比率が低く、特に 70 歳以上は数%に留まり、**高齢者の利用が少ない**。

*以下の各グラフにおいては、配布駅(「JR 高松」、「築港」、「片原町」、「瓦町」)別のクロス集計を基本とする。

図1. 回答者の性別(問 9)

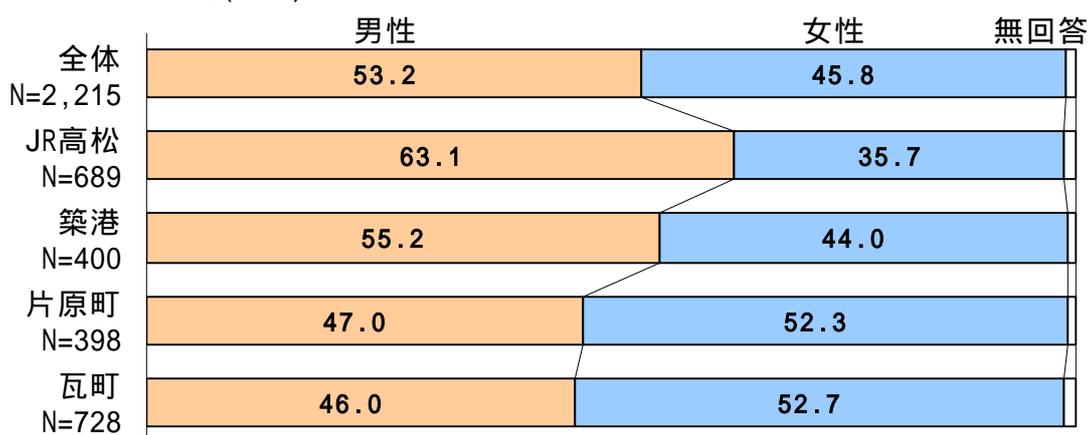
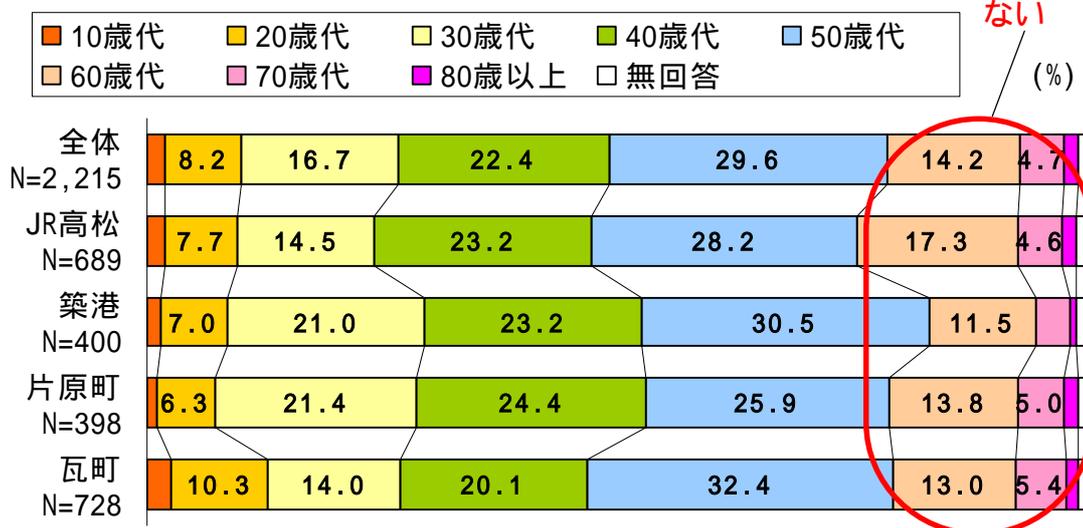


図2. 回答者の年齢(問 10)



2. アンケート結果

(1) 出発地

- ・ 出発地の約61%が「市内」で、約34%が「市外で県内」、約5%が「県外」となっている(図3)。
 - ・ JR高松では「市外で県内」を出発地とする人が半数を超えて出発地が広域的である一方、琴電各駅では「市内」が7割以上を占めている。
 - ・ 市内の出発地は、「東部地域」が約43%、「西部地域」が約11%、「中部地域」が約40%、「南部地域」が約7%、となっている(図4)。
- *各地域とゾーン区分については、次ページの図5を参照。

図3. 出発地(問1)

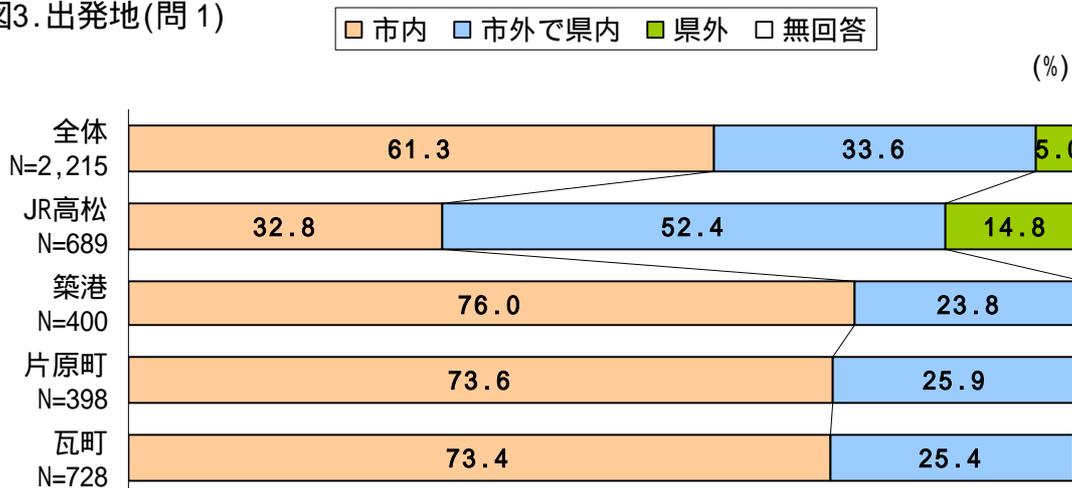


図4. 出発地(問1) -市内出発地の内訳-

南部地域からの利用は少ない
(仏生山駅周辺整備で利用拡大が図れる可能性)

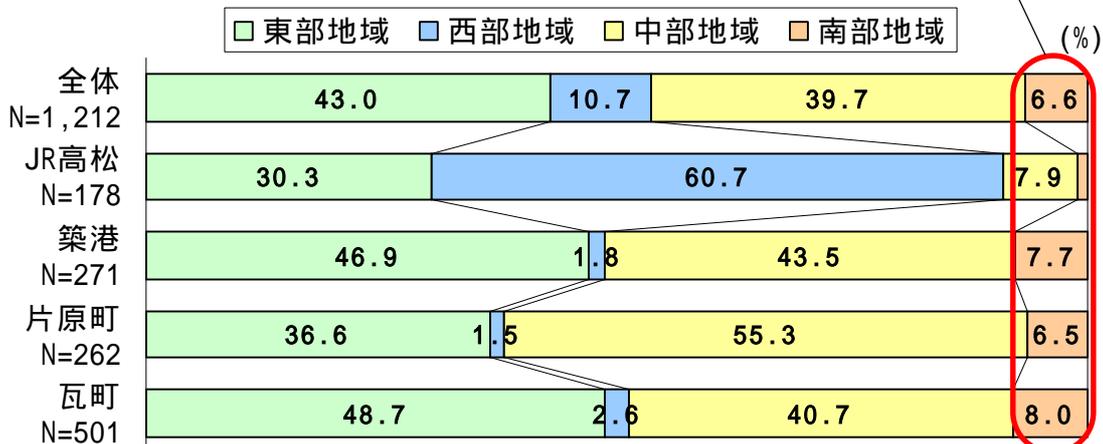
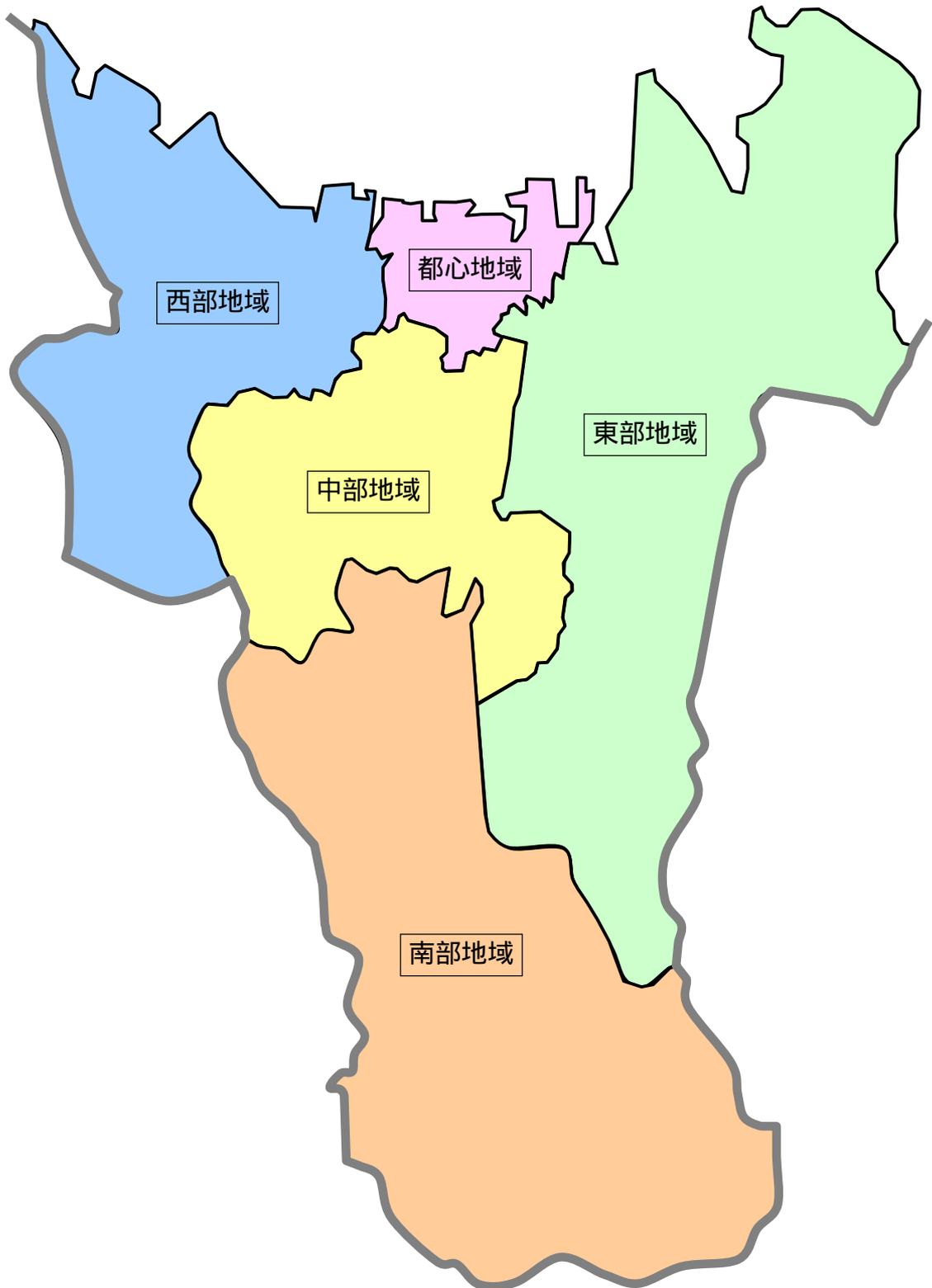


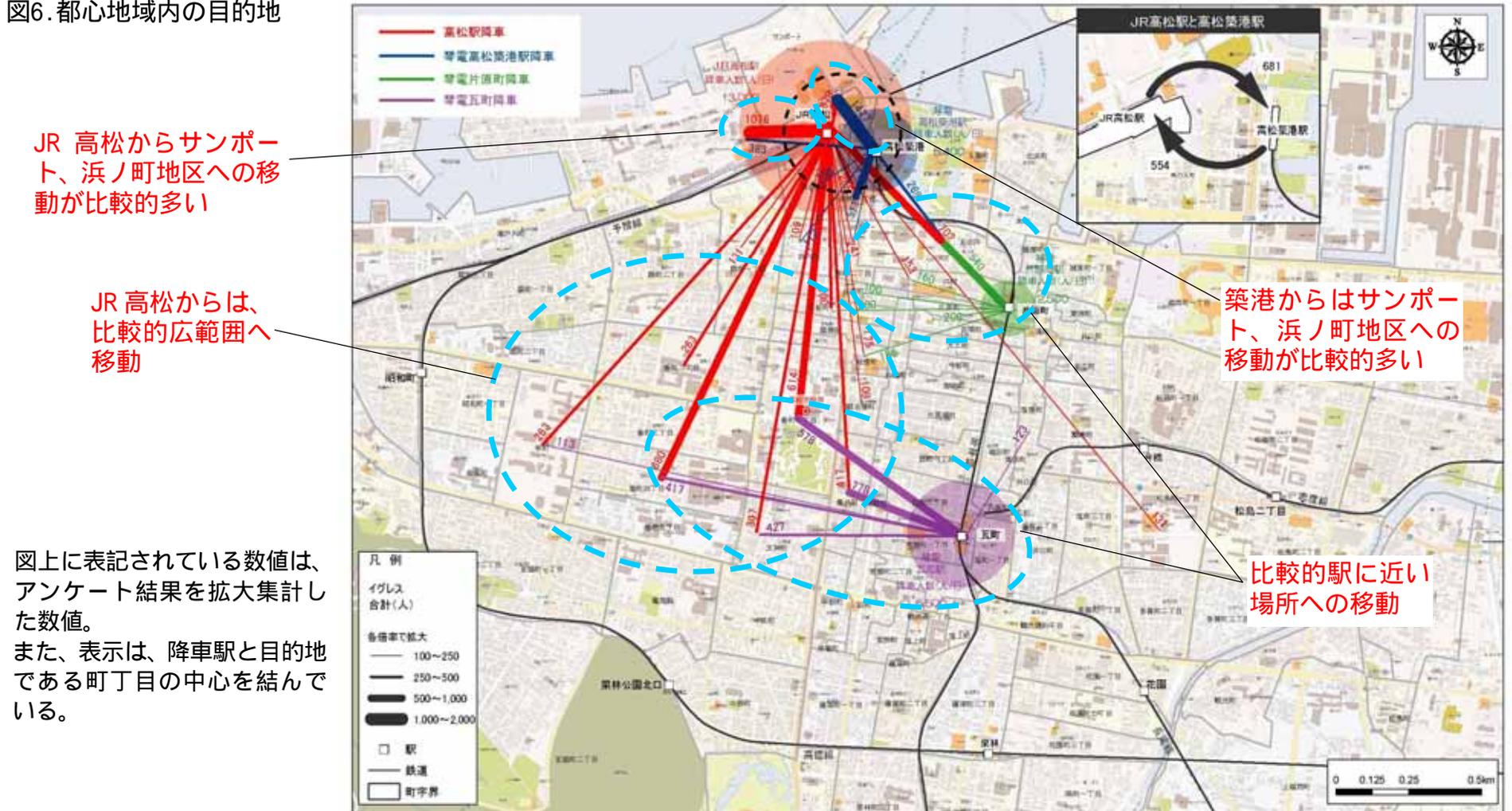
图5. 地域区分



(2) 目的地

・「都心地域」内における目的地は、JR 高松降車の場合、市役所・県庁付近から香川大学付近まで比較的広範囲への移動や臨海地区への移動が多く、琴電の各駅降車の場合、駅に近い場所への移動が多い(図6)。

図6. 都心地域内の目的地



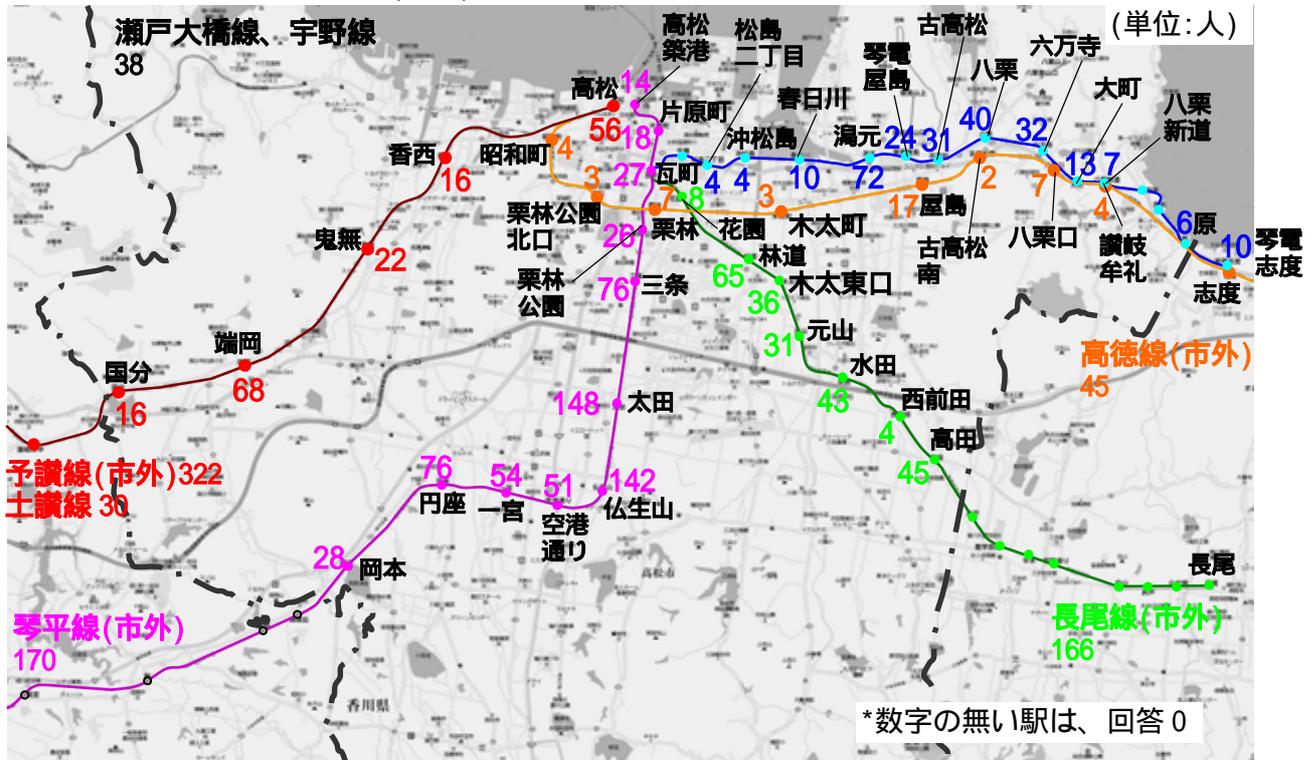
(3)乗車駅

- ・乗車駅が「市内」駅の人が 63%を占め、「市外で県内駅」の人が 34%、「県外」駅が 4%となっている(図7)。
- ・乗車駅の中では、**JR 予讃線の「高松、端岡」、琴電琴平線の「三条、太田、仏生山、円座」、琴電長尾線の「林道」、琴電志度線の「湊元」**の各駅での乗車が多くなっている(図8)。
- ・高松市外の駅で乗車している人は、JR 予讃線・土讃線で 352 人、JR 高德線で 45 人、JR 瀬戸大橋線・宇野線 40 人、琴電琴平線で 170 人、琴電長尾線で 166 人、琴電志度線で 10 人となっている(図8)。

図7.乗車駅(問2ア)

	市内駅で乗車	市外(県内)駅 で乗車	県外駅 で乗車
全体 N=2,215	62.6	33.7	3.7

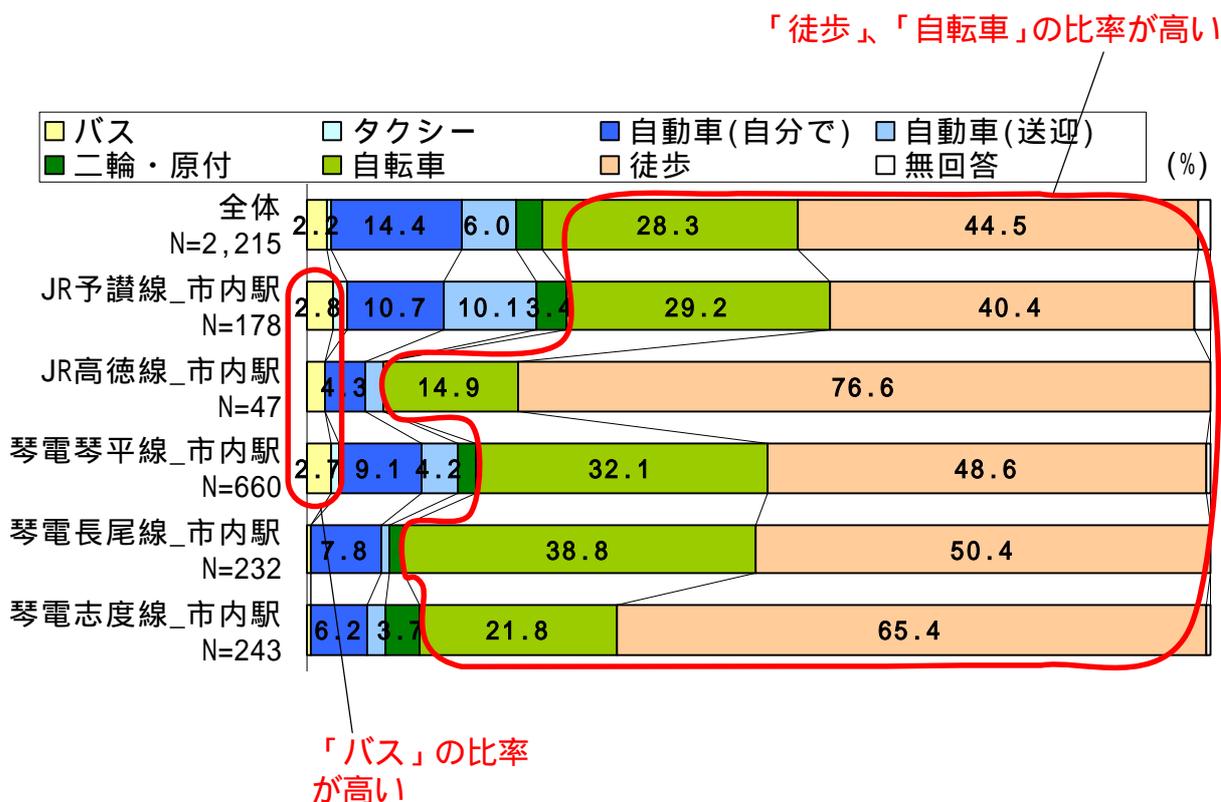
図8.各乗車駅での乗車数(問2)



(4)乗車駅までの交通手段

- ・乗車駅までの交通手段は、「**徒歩**」が約45%で最も多く、次いで「**自転車**」が約28%、「**自動車(自分で運転)**」が約14%となっている(図9)。
- ・高松市内のみで見ると、**JR予讃線、高德線や琴電琴平線**では、「**バス**」利用が少し多く、**比較的駅勢圏が広い**と考えられる(図9)。

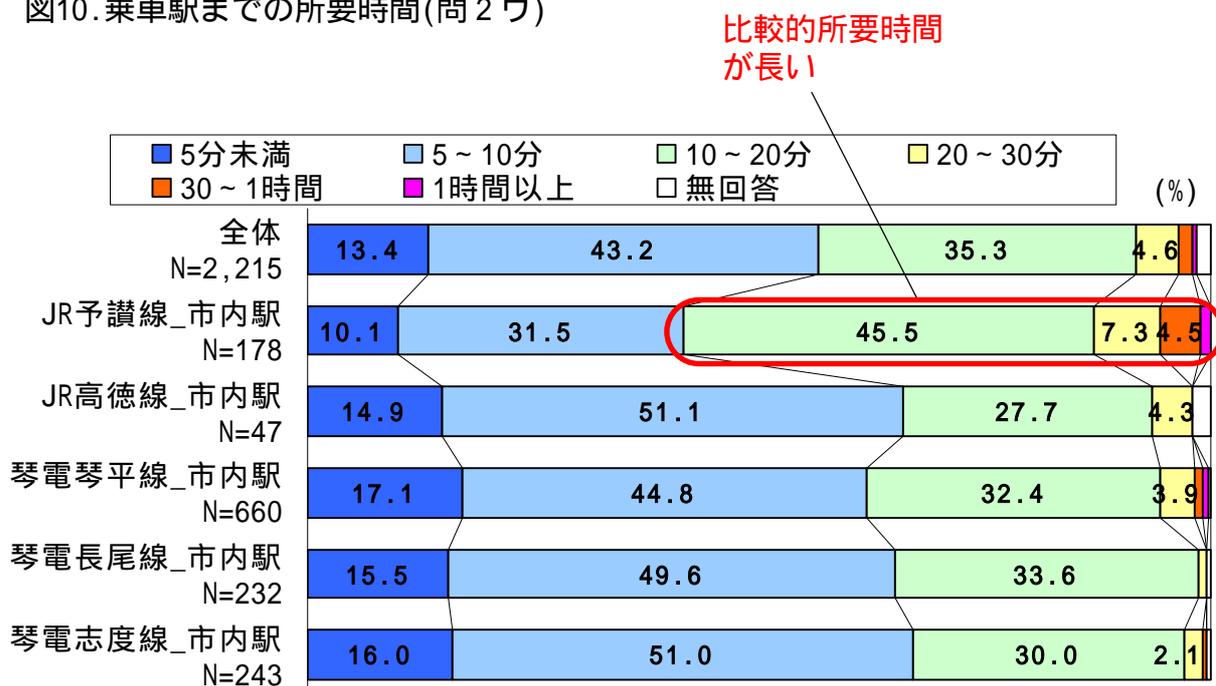
図9.乗車駅までの交通手段(問2イ)



(5) 乗車駅までの所要時間

- ・乗車駅までの所要時間は、「5～10分」が約43%、「10～20分」が約35%で、**20分未満で9割**を占めている(図10)。
- ・**JR予讃線では、20分以上の占める比率が少し高く**、交通手段の傾向と相まって駅勢圏の広さがうかがえる(図10)。

図10. 乗車駅までの所要時間(問2ウ)



(6) 降車駅から目的地までの交通手段

(目的地までの交通手段)

- ・ 9割近くの人が、アンケート受け取った駅が最終降車駅で、そこから「JR、**琴電、バス**」に乗り換えた人は約10%と少ないが、**JR高松と築港では15~16%**を占めている(図11)。
- ・ 降車駅から目的地までの交通手段は、各駅とも「徒歩」が多いが、**JR高松では「自転車」の比率が比較的**多く、職場までの利用や観光客のレンタサイクル利用が多いものと考えられる(図12)。
- ・ また、**JR高松 築港への乗換は約5%**(実降車数で拡大すると約670人)、**築港 JR高松への乗換は約10%**(同約540人)となっている(図12)。

図11. 降車駅からの動き(問3)

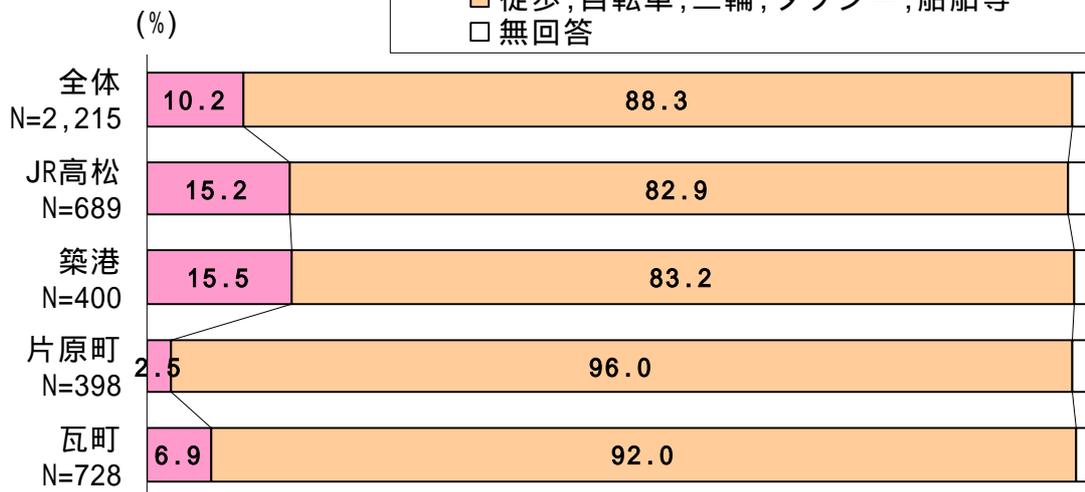
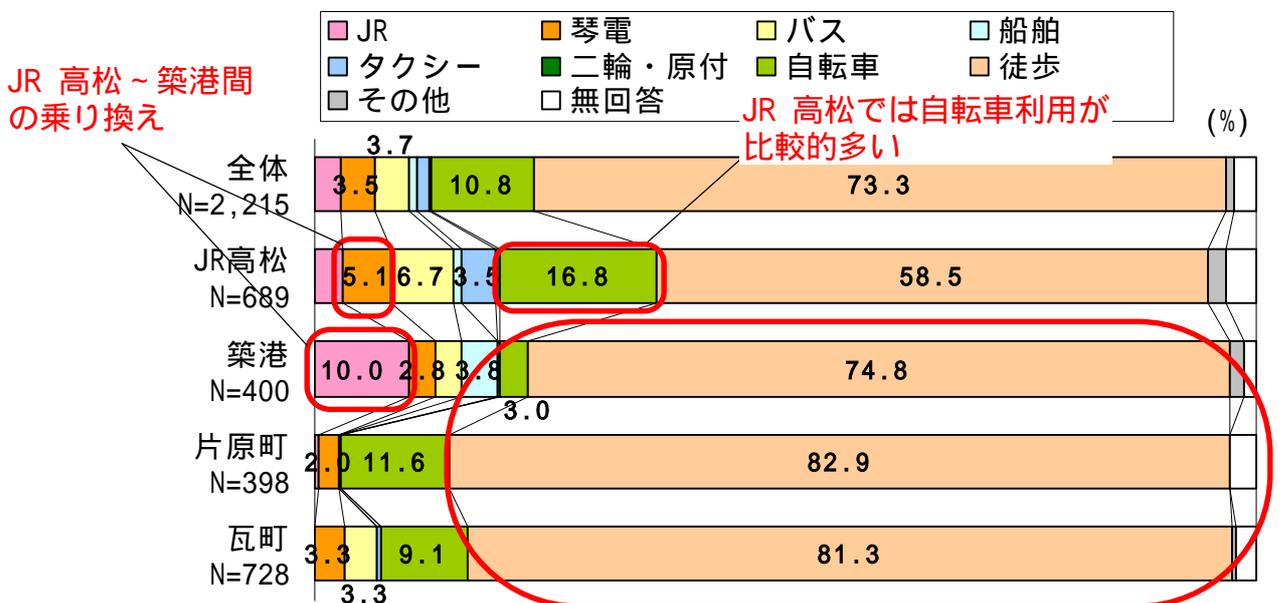


図12. 降車駅から目的地までの交通手段(問3-1ア、3-2ア)



JR 高松 ~ 築港間の乗り換え

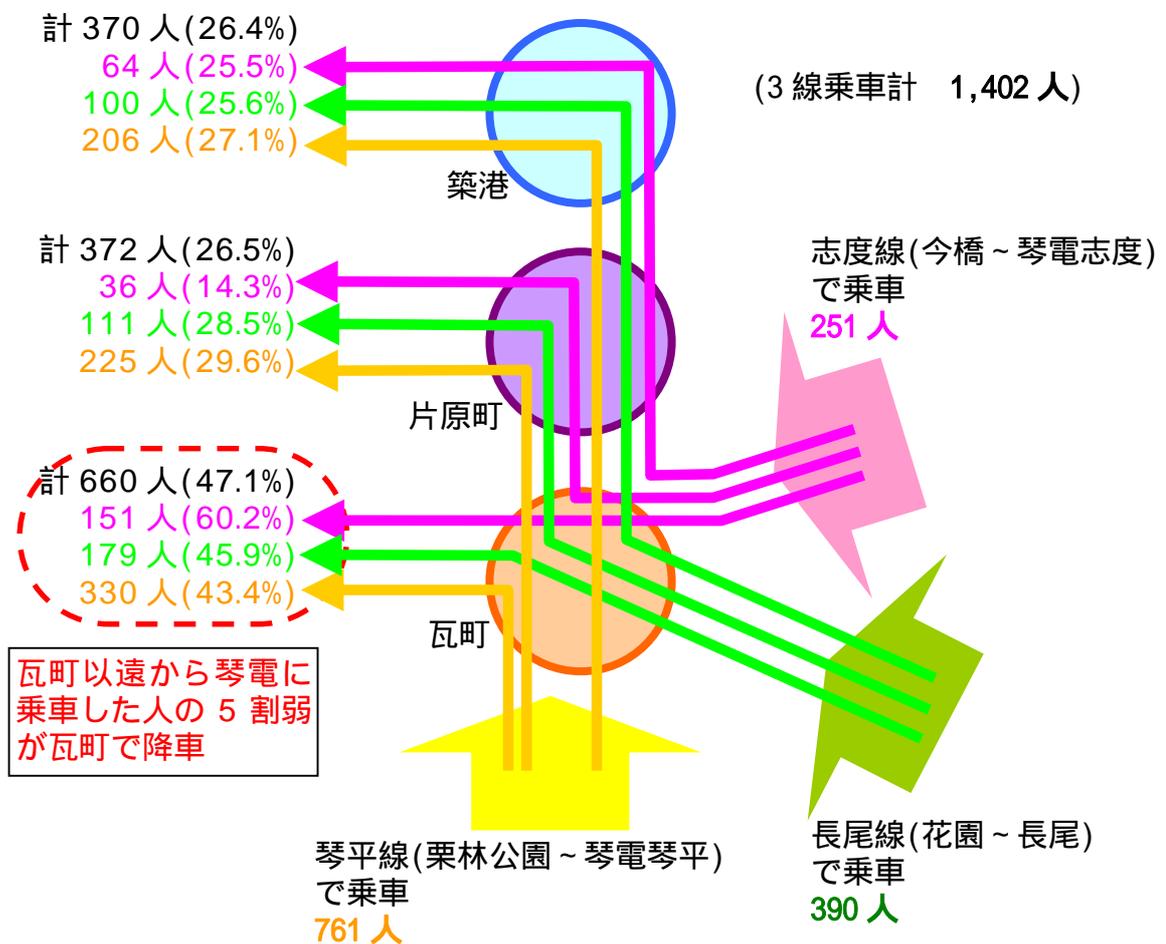
JR 高松では自転車利用が比較的多い

琴電各駅では、降車後「徒歩」が8割前後を占める

(7) 琴電各駅での降車状況

- ・ 琴電の瓦町駅以遠の駅から乗車した人が中心部の3駅でそれぞれの程度降車しているかをみると、**瓦町で約46%、片原町で約28%、築港で約26%**となっており、**瓦町で約半数が降車**している(図13)。

図13. 瓦町駅以遠で乗車した人の琴電各駅での降車状況(全目的)



* ()内は、各線乗車計に対する比率

(8) 目的地までの所要時間

- ・「JR、琴電、バス」に乗り換えてから目的地までの所要時間は、「**10～20分**」が約**33%で最も多く**、次いで「5～10分」が約19%となっているが、「1時間以上」も約9%である(図14)。
- ・「1時間以上」が一定量あるのは、JR高松や築港で「30分～1時間」や「1時間以上」が多いからで、これは**島嶼地方への船舶乗り換え**があるからである(図14)。
- ・目的地まで「JR、琴電、バス」以外で移動する場合の所要時間は、**20分未満が9割近く**を占め、各駅でも傾向は大きく変わらない(図15)。
- ・ただし、琴電各駅の方が所要時間が短くなる傾向で、特に**築港は10分未満が7割**を占めている(図15)。

図14. 「JR、琴電、バス」に乗り換えてから目的地までの所要時間(問3-1)

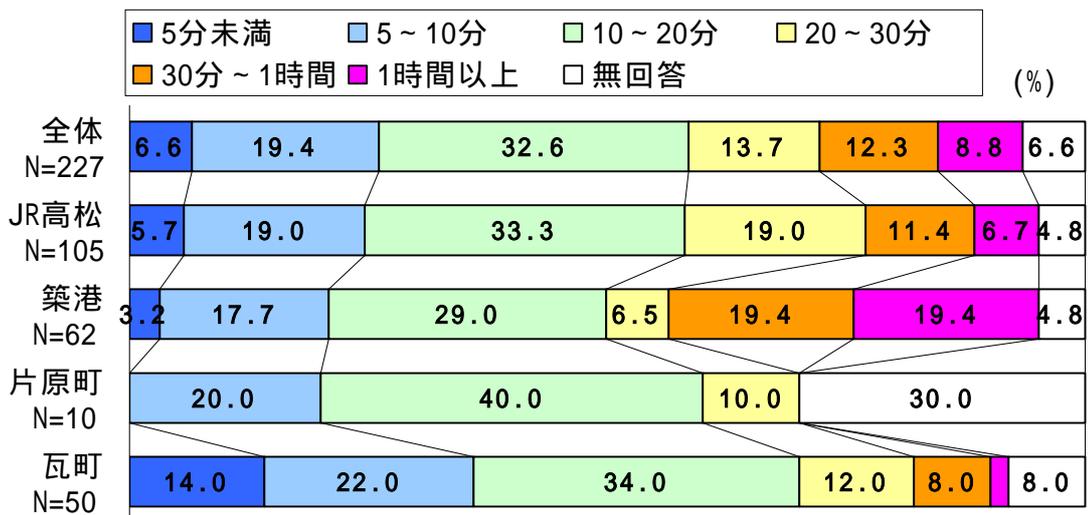
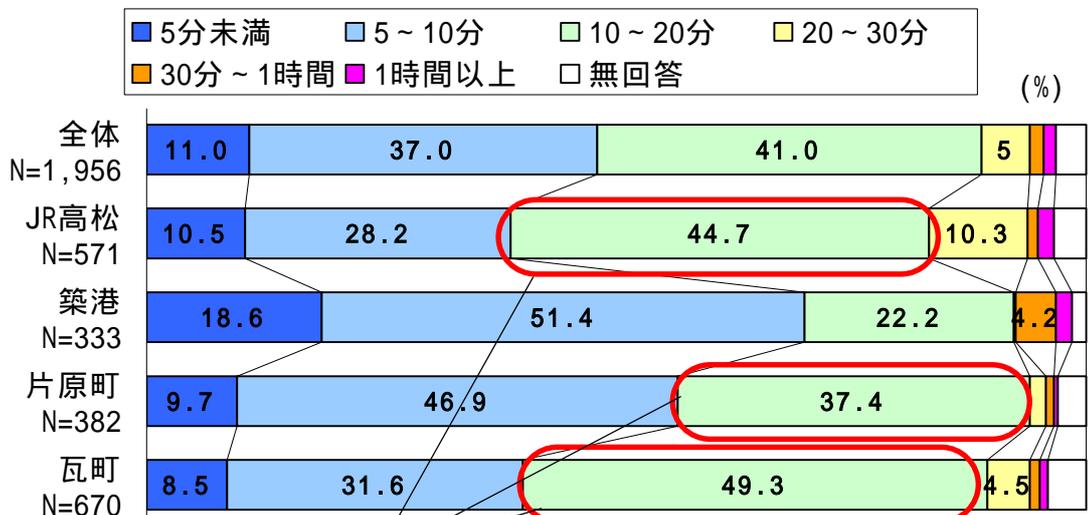


図15. 降車した駅から目的地までの所要時間(問3-2)

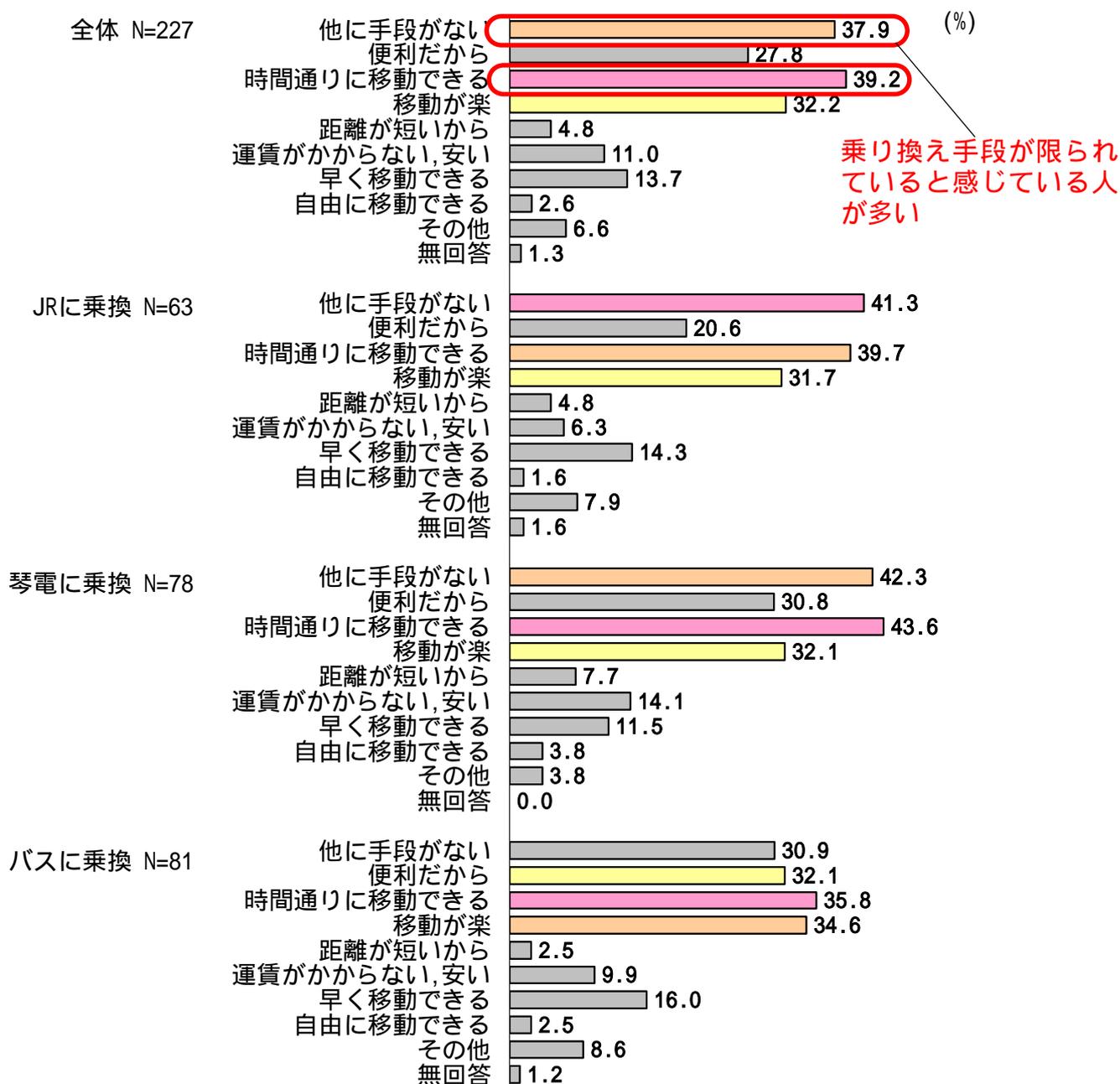


10～20分と比較的広範囲を移動

(9) 「JR、琴電、バス」に乗り換える理由

- ・「JR、琴電、バス」に乗り換える場合の手段選択理由としては、「**時間通りに移動できる**」が最も多いほか、「**他に手段がない**」も多く、乗り換え手段が限られていると感じている人が多い可能性がある(図16)。
- ・「JR、琴電、バス」それぞれへの乗り換えで回答に大きな差はないが、「JR、**琴電**」では、「時間通りに移動できる」とする**定時性の評価がやや高く**、「**バス**」では、「便利だから」とする人が「JR、琴電」より少し多く、**利用の気軽さが評価**されていると考えられる(図16)。

図16. 「JR、琴電、バス」に乗り換える場合の手段選択理由(問4、複数回答)



(10)降車した駅から乗り換えなしで目的地まで移動する場合の
手段選択理由

- ・目的地まで「JR、琴電、バス」以外で移動する場合の手段選択理由としては、「距離が短いから」が多く、目的地までの距離を勘案して、**適切な交通手段が「徒歩」しかない状況で、また「他に手段がない」と考えている可能性**がある(図 17,18)。
- ・「**タクシー**」利用では、「早く移動できる」が多く、**速達性が評価**されている(図 17,18)。

図17.目的地まで「JR、琴電、バス」以外で移動する場合の手段選択理由 1
(問 4、複数回答) (%)

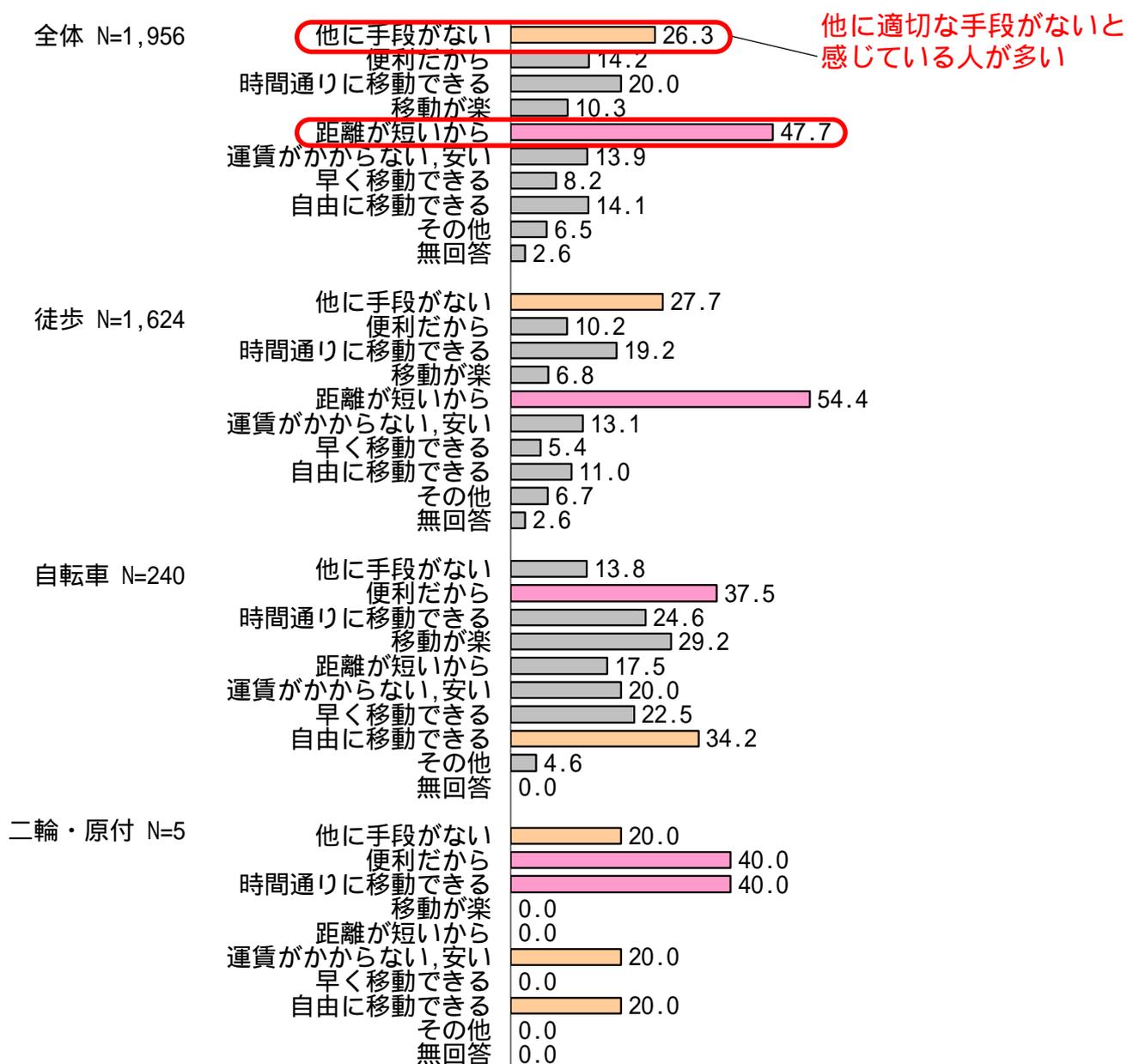
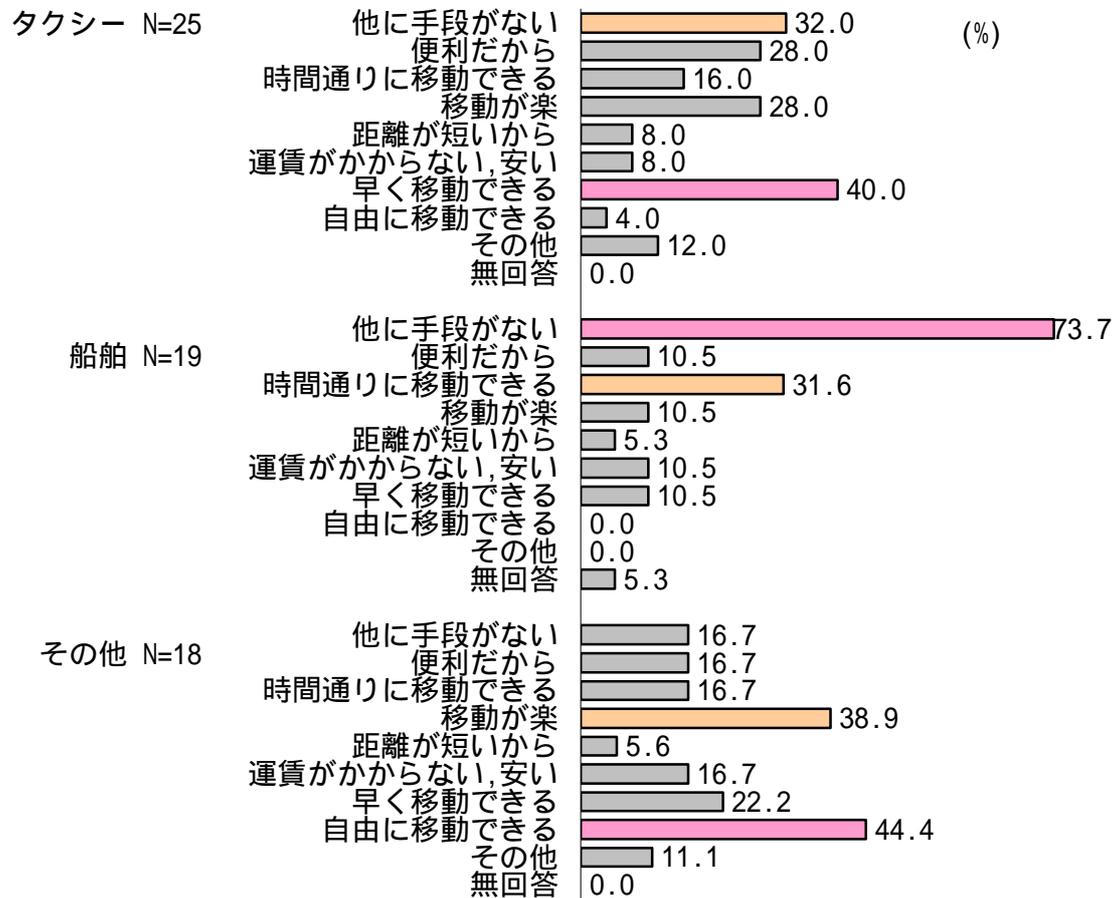


図18.目的地まで「JR、琴電、バス」以外で移動する場合の手段選択理由2
(問4、複数回答)



(11) 選択した交通手段の利用目的と頻度

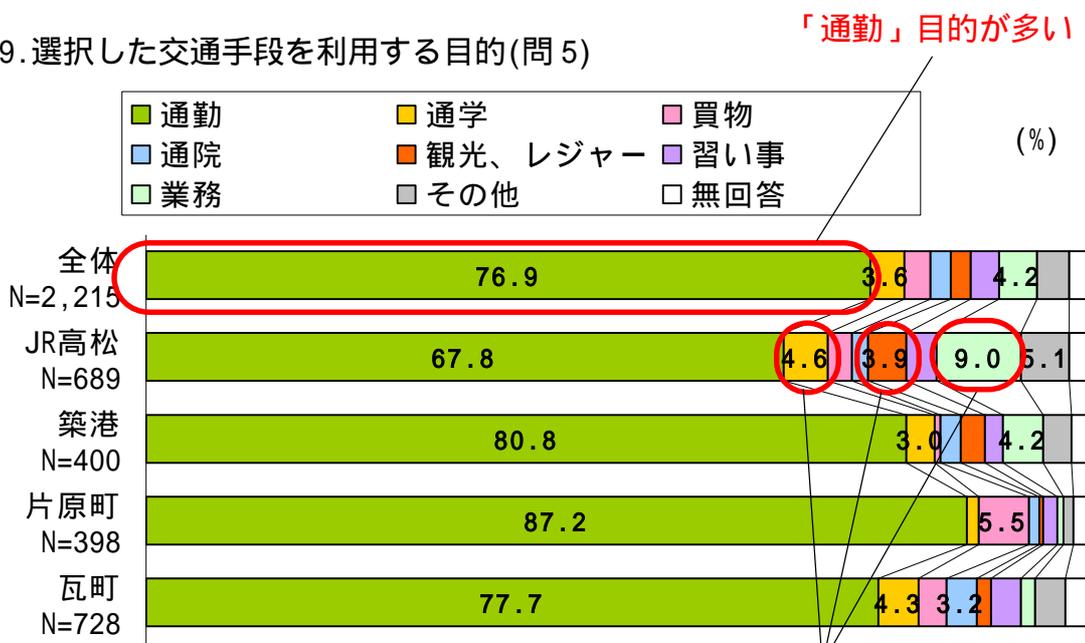
(利用目的)

- ・交通手段を利用する目的としては、「通勤」が約77%で最も多く、その他の目的はいずれも5%未満である(図19)。
- ・JR高松駅では、広域的な利用があるので、「通学」、「観光」や「業務」などの目的が琴電各駅などと比べてやや多く、琴電片原町駅では、商店街利用による「買物」がやや多い(図19)。

(利用頻度)

- ・今回の移動目的の全般的な頻度としては、目的として「通勤」が多いことから、「土日以外のほぼ毎日」である人が多い(図20)。

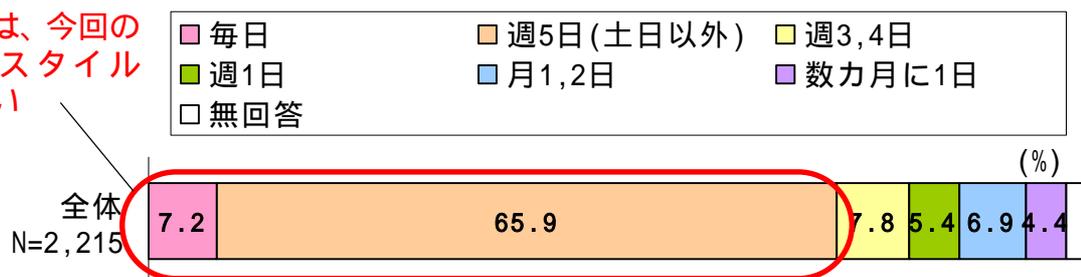
図19. 選択した交通手段を利用する目的(問5)



JR高松駅では、「通学」、「観光」や「業務」が一定比率を占める

図20. 今回の移動目的の頻度(問6)

平日は、今回の移動スタイルが多い

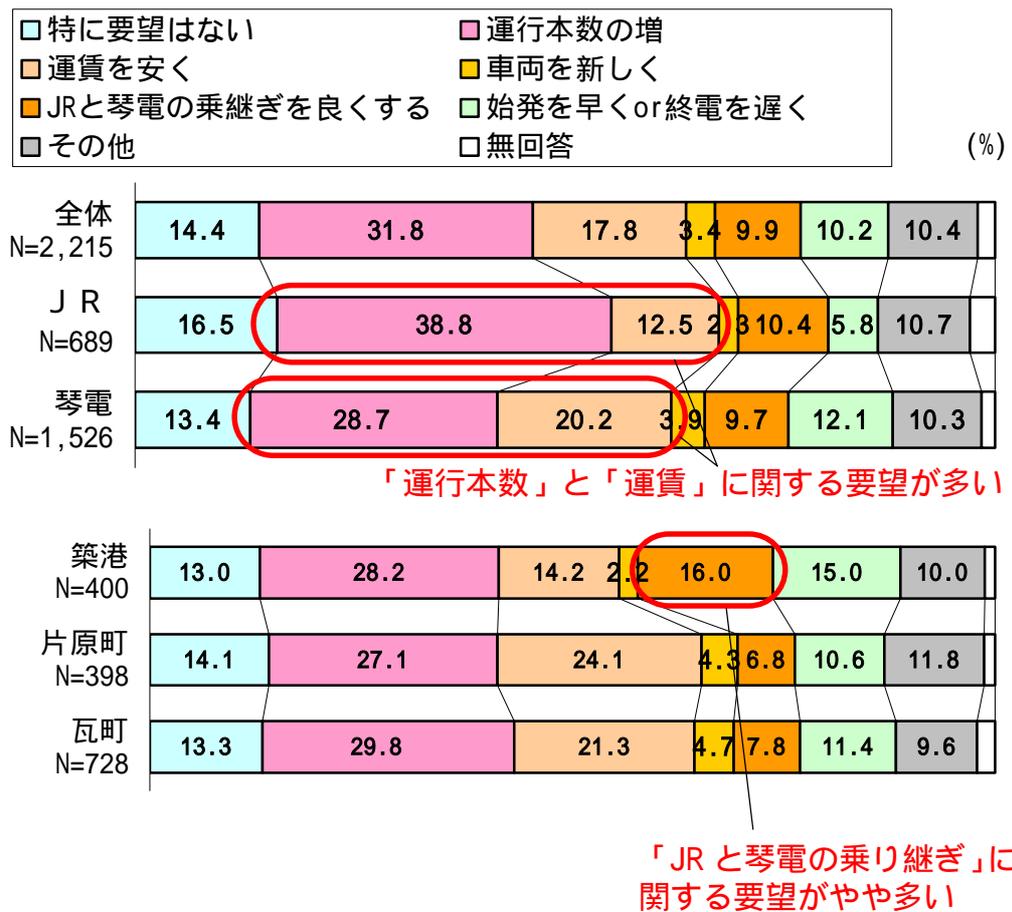


(12)JR または琴電に対する要望

- ・ JR に対する要望としては、「運行本数の増」や「運賃を安く」が多く、琴電と比べると、前者の要望が多い(図 21)。
- ・ 琴電に対する要望としては、JR と同様に「運行本数の増」や「運賃を安く」が多いが、JR と比べて「運賃を安く」や「始発、終電」に関する要望が多くなっている(図 21)。
- ・ また、築港では、「JR と琴電の乗り継ぎを良くする」に対する要望が高い(図 21)。

図21. JR または琴電に対する要望(問 7)

*配布駅が JR 高松の人の回答を JR に対する要望とし、配布駅が琴電各駅の人の回答を琴電に対する要望とした。



(13) 今回の目的以外で中心市街地を訪れる時の交通手段と利用理由

(中心市街地を訪れる時の交通手段)

- ・今回以外で中心市街地に来る時の交通手段としては、**自分で運転する「自動車」が約44%**で最も多く、次いで**「琴電」が約25%**、「自転車」が約7%となっている(図22)。
- ・配布駅別でみると、JR高松では、「自動車」以外に普段同様「JR」を利用する人がやや多く、同様に琴電各駅では「琴電」を利用する人が多い(図22)。

(中心市街地を訪れる時の交通手段の利用理由)

- ・「**自動車**」を利用する理由としては、「**自由に移動できる**」、「**移動が楽**」、「**便利だから**」が多い一方で、「**時間通りに移動できる**」は少なく、「**定時性に対しては評価が低い**」(図23,24)。
- ・一方、「**JR**」や「**琴電**」を利用する理由では、「**時間通りに移動できる**」が多く定時性に対する評価高い(図23,24)。
- ・問4の乗り換えてからの交通手段の選択理由(P13)で、バスでは「時間通り移動できる」が多かったが、これは短い区間であることによると考えられ、本問での回答では、「時間通り移動できる」の評価が低く、「**郊外からのバス移動では所要時間が問題**」となっていると考えられる(図16,図23)。

図22. 今回以外で中心市街地に来る時の交通手段(問8ア)

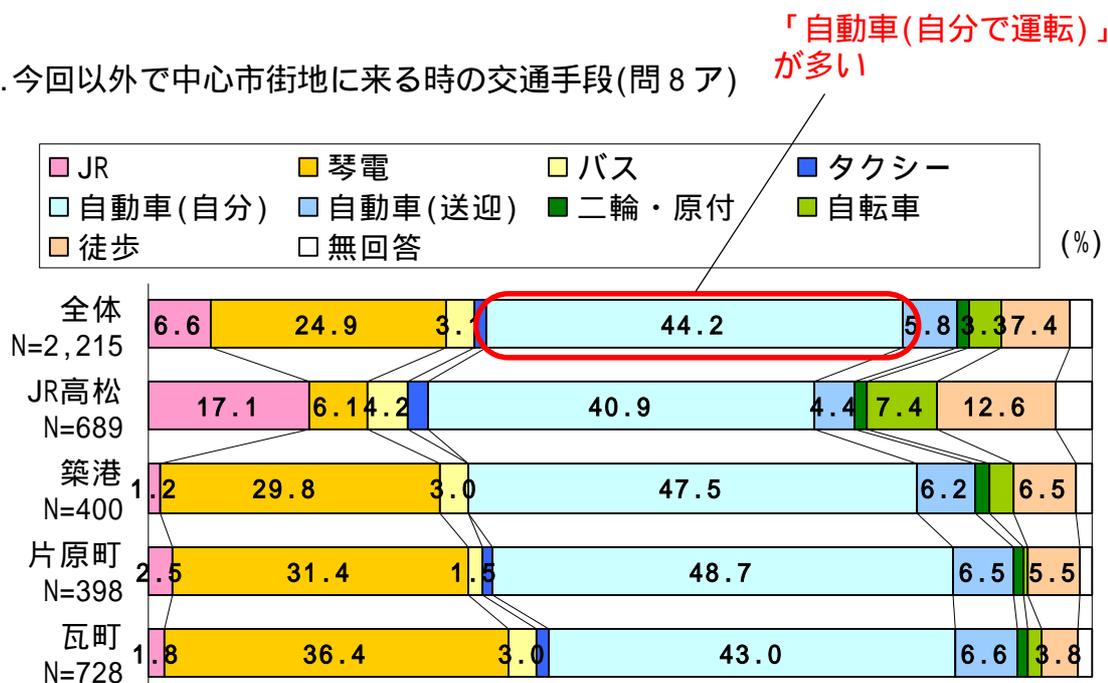


図23. 今回以外で中心市街地に来る時の交通手段を選ぶ理由 1(問 8 イ、複数回答)

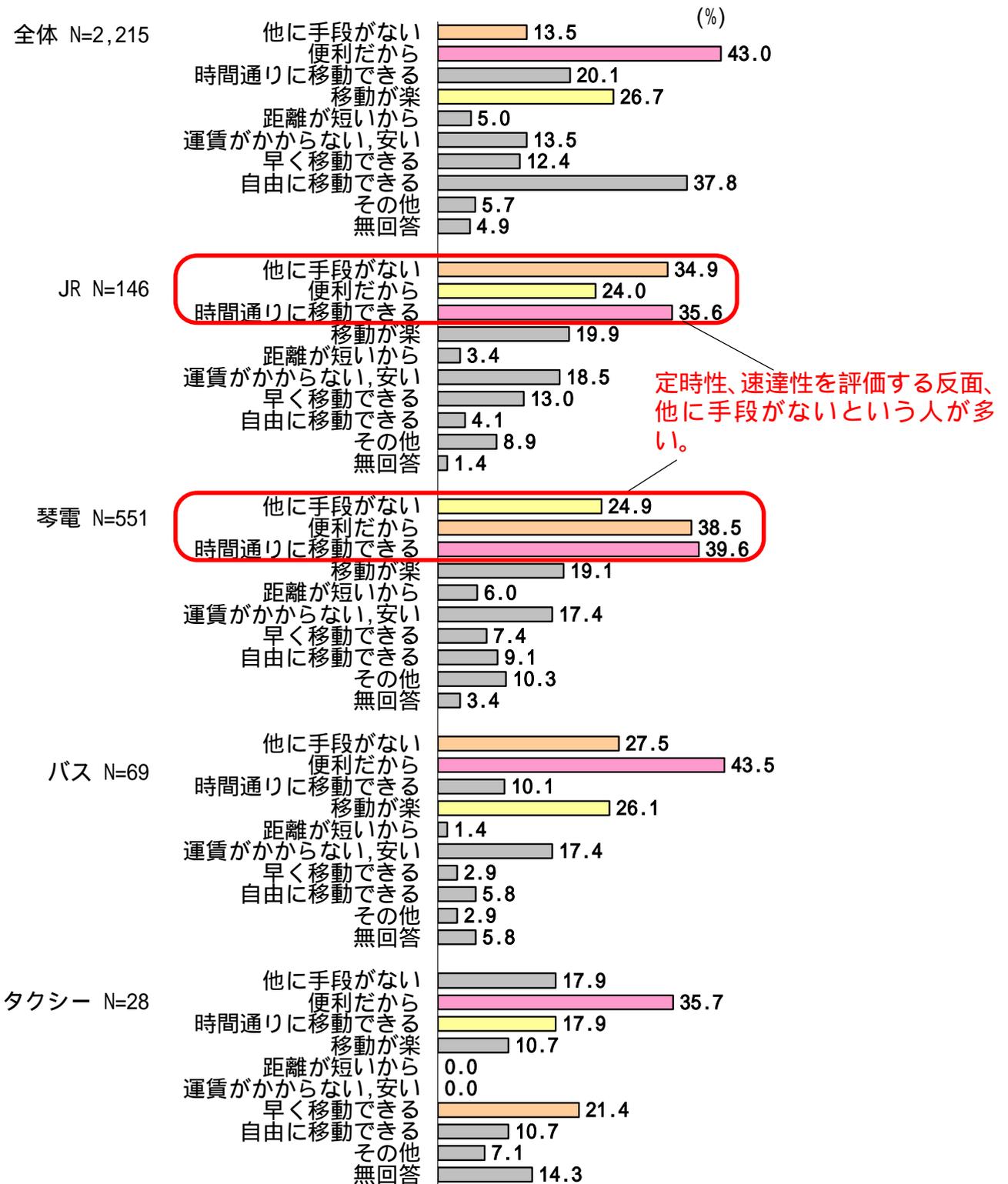
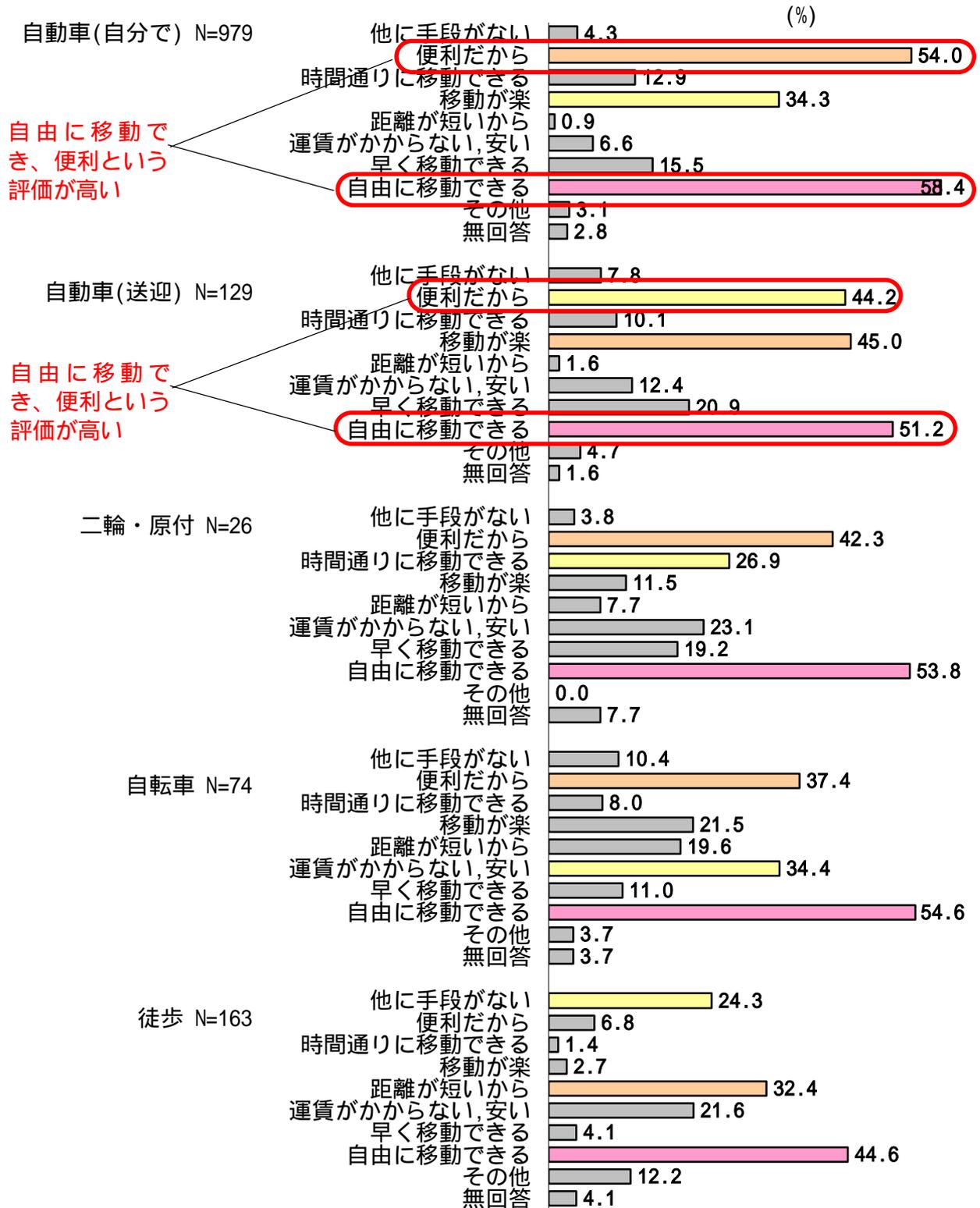


図24. 今回以外で中心市街地に来る時の交通手段を選ぶ理由 2(問 8 イ、複数回答)



3.まとめ

乗車駅までの行動

- ・乗車駅が「高松市内」の人が63%を占め、JR予讃線「高松、端岡」、琴電琴平線「三条、太田、仏生山、円座」、琴電長尾線「林道」、琴電志度線「湊元」での乗車が多い。
- ・乗車駅までの交通手段は、「徒歩」が約45%、「自転車」が約28%、「自動車(自分で運転)」が約14%となっている。
- ・乗車駅までの所要時間は、20分未満で9割を占めるが、JR予讃線では、20分以上の比率が少し高く駅勢圏がやや広いと考えられる。

降車駅からの行動

- ・「JR、琴電、バス」に乗り換えた人は約10%である(JR高松駅と琴電高松築港駅では15~16%)。
- ・JR~琴電間の乗り換え率は、JR高松駅で約5%、琴電高松築港駅で約10%となっている。
- ・降車駅から目的地までの交通手段は、「徒歩」が多く、JR高松駅では「自転車」の比率も比較的多い。
- ・「JR、琴電、バス」に乗り換えてから目的地までの所要時間は、「10~20分」が約30%、「5~10分」が約17%となっている。
- ・配布駅が最終降車駅である場合の目的地までの所要時間は、20分未満が9割近い。

交通手段の選択理由、目的、頻度

- ・「JR、琴電」への乗り換えでは、「時間通りに移動できる」とする定時性の評価がやや高く、「バス」への乗り換えでは、「便利だから」とする人がやや多く、利用の気軽さが評価されている。
- ・また、「他に交通手段がない」とする人も多く、乗り換え手段が限られていると感じている人が多い可能性がある。
- ・配布駅が最終降車駅である場合「徒歩」が多いが、その理由として「距離が短いから」が多く、適切な交通手段が「徒歩」しかないと考えられる。
- ・利用目的は、「通勤」が約77%で、その他はいずれも5%未満である。
- ・JR高松駅では、「観光」や「業務」などがやや多く、琴電片原町駅では「買物」がやや多い。
- ・頻度は、「通勤」目的が多いことから、「土日以外のほぼ毎日」が多い。

JR または琴電に対する要望

- ・ JR に対しては、琴電と比べて「運行本数の増」が少し多い。
- ・ 琴電に対しては、JR と比べて「運賃を安く」や「始発、終電」が少し多い。
- ・ 琴電高松築港駅では、「JR と琴電の乗り継ぎを良くする」に対する要望が高い。

中心市街地を訪れる時の交通手段と利用理由

- ・ 中心市街地に来る時の交通手段は、「自動車(自分で運転)」が約 44%、「琴電」が約 25%、「自転車」が約 7%となっている。
- ・ 「自動車」を利用する理由は、「自由に移動できる」、「移動が楽」などが多い一方で「時間通りに移動できる」が少なく、定時性に対する評価が低い。
- ・ 「JR」や「琴電」を利用する理由は、「時間通りに移動できる」が多く定時性に対する評価高い。
- ・ 「バス」を利用する理では、「時間通り移動できる」の評価が低く、郊外からのバス移動で所要時間が問題となっていると考えられる。

まとめ

- ・ 中心市街地の 4 駅で降車する鉄道利用者は、その 2/3 が高松市内から乗車しているが、市外で香川県内から乗車した人についてもその半数程度いることから、中心性の高さがうかがえる。
- ・ 降車した後の交通手段では、琴電片原町駅、瓦町駅でその 9 割前後を「自転車、歩行者」が占めるのに対し、JR 高松駅、琴電高松築港駅では、75%程度にとどまり、「JR～琴電」間の乗り換え需要や「バス」乗り継ぎが重要となっている。
- ・ 琴電瓦町駅で降車後の交通手段は「徒歩」が多く、短距離であることを手段選択理由にあげているが、目的地までの所要時間が「10～20分」と「20～30分」で半数を占め、降車してからの移動時間としては少し長めとなっている。
- ・ JR、琴電に対する要望して、「特にない」とする割合がともに 1 割程度あって現状に満足している点も見受けられるものの、「運行本数」に関する要望が多く、その他要望でも連結車両の増などについての意見が多かったことから、輸送力の改善について検討が求められる。
- ・ 特に、今回目的以外での中心市街地来訪では、4～5 割が「自動車」利用としているなど、通常以外での利用増を図るための対策が重要と考えられる。

アンケート票

郵便はがき

530-8790

151

大阪支店
承認
1602

差出有効期間
平成21年8月
30日まで

大阪府大阪市 北区 万歳町3-20
株トーニチコンサルタント 西日本支社内

公共交通利用に関するアンケート調査係 行



公共交通利用に関するアンケート御協力をお願い

高松市

高松市では、人口減少・少子高齢化社会の進展、地球環境問題への対応を図るため、過度に自動車に依存しない交通体系の検討を進めており、公共交通の利用促進など、本市の将来を見据えた総合都市交通計画を策定することとしています。

つきましては、皆様の公共交通の利用状況、公共交通に対する御意見を伺うためにアンケートを実施致します。

なお、御回答頂いたアンケートについては、統計的に処理し、本調査以外の目的では一切使用することは致しません。

大変お忙しい中、誠に恐縮ですが、御協力のほどよろしくお願い致します。

平成21年5月 高松市

■アンケートに御記入頂くに当たって

- アンケートは、この調査票を受け取られた方(本人)が御回答下さい。
- 御回答は、回答欄に記載されている数字で該当するものに○を付けるか、()中に具体的に御記入下さい。

■御記入されたアンケートは、回答欄を切り離し、6月10日(水)までに、お近くのポストに投函して下さい。

■アンケートに対する御質問等については、下記までお問い合わせ下さい。

●問い合わせ先

高松市役所市民政策部企画課交通政策室(調査実施主体)

担 当 板東(ばんどう)、諏訪(すわ)、中川(なかがわ)

TEL 087-839-2138(直通)

株式会社トーニチコンサルタント西日本支社(調査受託会社)

担 当 池崎(いけざき)、辻(つじ)、山根(やまね)

TEL 06-6316-1494(直通)

御協力のほど、よろしくお願い致します。

問1～問6は、本日の行動についてお聞かせ下さい。

問1. 出発地と目的地についてお答え下さい。

出発地：_____市_____町_____丁目 → 目的地：_____市_____町_____丁目

問2. JRあるいは琴電に乗車された駅、その駅までの交通手段、所要時間についてお答え下さい。

ア. 乗車駅名（_____）駅

イ. その駅までの交通手段（1つ選択）

1. バス 2. タクシー 3. 自動車(自分で運転) 4. 自動車(家族の送迎) 5. 二輪・原付 6. 徒歩 7. 自転車

ウ. その駅までの所要時間（_____）分（1分刻みでお答え下さい）

問3. 降車駅から目的地までの交通手段についてお答え下さい。（1つ選択）

1. 降車駅からJR・琴電・バスに乗換える

→ 問3-1へお進み下さい

2. 降車駅から徒歩・自転車・二輪・原付・タクシー・船舶等で直接目的地まで行く → 問3-2へお進み下さい

▶ 問3-1. 乗換える交通手段と最終降車場所、乗換えてから目的地までの所要時間についてお答え下さい。（1つ選択）

ア. 駅を降りてから乗換える交通手段：1. JR 2. 琴電 3. バス

イ. 最終降車場所：駅名またはバス停名（_____）

ウ. 乗換えてから目的地までの所要時間：（_____）分（1分刻みでお答え下さい）

▶ 問3-2. 降車駅から目的地までの交通手段、所要時間についてお答え下さい。（1つ選択）

ア. 交通手段：1. 徒歩 2. 自転車 3. 二輪・原付 4. タクシー 5. 船舶 6. その他（_____）

イ. 所要時間：（_____）分（1分刻みでお答え下さい）

問4. 問3-1または3-2で回答された交通手段を利用する理由についてお答え下さい。（3つまで選択）

1. 他に手段がない 2. 便利だから 3. 時間通りに移動できるから 4. 移動が楽だから 5. 距離が短いから
6. 運賃がかからない、または安い 7. 早く移動できるから 8. 自由に移動できるから 9. その他（_____）

問5. 問4で回答された手段を利用する目的についてお答え下さい。（1つ選択）

1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 観光・レジャー 6. 習い事 7. 業務 8. その他（_____）

問6. 問5の目的による外出頻度（外出日数）についてお答え下さい。（1つ選択）

1. 毎日 2. 週5日（土、日を除く） 3. 週3、4日 4. 週1日 5. 月1、2日 6. 数ヶ月に1日

問7. JRまたは琴電に対する要望等についてお聞かせ下さい。（1つ選択）

1. 特に要望はない 2. 運行本数を増やしてほしい 3. 運賃を安くしてほしい 4. 車両を新しくしてほしい（低床式車両等）
5. JR・琴電の乗継ぎを良くしてほしい 6. 始発を早めてほしい・または終電を遅くしてほしい 7. その他（_____）

問8. 問5の目的以外で中心市街地（中央商店街、官公庁、病院医療施設など）を訪れる時に利用する交通手段と、その利用理由についてお答え下さい。（交通手段は1つ、利用理由は3つまで選択）

ア. 交通手段：1. JR 2. 琴電 3. バス 4. タクシー 5. 自動車(自分で運転) 6. 自動車(家族の送迎) 7. 二輪・原付 8. 徒歩 9. 自転車

イ. 利用理由：1. 他に手段がない 2. 便利だから 3. 時間通りに移動できるから 4. 移動が楽だから 5. 距離が短いから
6. 運賃がかからない、または安い 7. 早く移動できるから 8. 自由に移動できるから 9. その他（_____）

問9. あなたの性別についてお答え下さい。（1つ選択）

1. 男性 2. 女性

問10. あなたの年齢についてお答え下さい。（1つ選択）

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳代以上

回答欄

※該当する数字に○印をつけて下さい。

※（_____）欄に御記入をお願いします。

切り取り線

問1 出発地：_____市_____町_____丁目
目的地：_____市_____町_____丁目

問2 ア.（_____）駅
イ. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.
ウ.（_____）分

問3 1. 2.

問3-1 ア. 1. 2. 3.
イ. 駅名またはバス停名（_____）
ウ.（_____）分

問3-2 ア. 1. 2. 3. 4. 5. 6.（_____）
イ.（_____）分

問4 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.
9.（_____）

問5 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.（_____）

問6 1. 2. 3. 4. 5. 6.

問7 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.（_____）

問8 ア. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.
イ. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.
9.（_____）

問9 1. 2.

問10 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8.

アンケートに御協力ありがとうございました。